

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 株式会社シーボン 上場取引所 東
 コード番号 4926 URL <https://www.cbon.co.jp/company/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 執行役員 (氏名) 犬塚 雅大
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 執行役員 (氏名) 三上 直子 TEL 044-979-1234
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,636	—	△123	—	△83	—	△372	—
2019年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △393百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△87.13	—
2019年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2020年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,039	8,926	80.8
2019年3月期	11,702	9,486	81.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 8,921百万円 2019年3月期 9,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,407	91.0	△304	—	△252	—	△563	—	△131.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2020年1月31日）公表いたしました「特別損失の計上及び繰延税金資産の取り崩し並びに業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	4,281,200株	2019年3月期	4,277,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	539株	2019年3月期	489株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	4,279,694株	2019年3月期3Q	4,098,395株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2020年1月31日（金）に、当社ホームページへ掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前第3四半期連結累計期間との比較については記載しておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費が持ち直す等緩やかな回復が続いているものの、海外経済の不確実性や10月に実施された消費税増税後の消費マインドの動向等、景気を下振れさせる懸念材料も多く存在しており、先行きは不透明な状況が続いております。

こうした経営環境の中、当社は、「新たなシーボンへー革新と挑戦ー」を経営指針とする2018年3月期から2020年3月期までの中期経営計画を進行し、「新たなお客様の開拓」「現場力の向上」「より強いブランドへ」という3つの重点課題に取り組んでおります。中期経営計画の最終年度となる2020年3月期は、計画を着実に実行し、企業体質の強化を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間におきましては、長期的成長を目指し新規顧客に対する販売活動の改革を進めてまいりました。集客活動においては、ブライダル等女性と関わりの深い企業・団体への営業活動を強化しイベントプロモーションを展開するとともに、Webマーケティング等の強化を図り、新たな集客の柱として育成しております。また、「ホームケア+サロンケア」という独自の美肌システムの認知、理解促進を図るための一貫した情報を発信することに加え、集客ツールの刷新や新規顧客向けの化粧品セットを用意する等新規顧客にとって理解しやすい、始めやすい環境の整備に注力しております。

研究開発活動においては、製品やサービスの付加価値を高めるため、エビデンスの収集等外部研究機関との連携を強化し学会発表を行う等、研究開発力の向上を図っております。

製品におきましては、新たに下記の製品を発売いたしました。

- ・4月：美白スキンケアライン『ホワイト』シリーズより、薬用美白化粧水『クリアローション』、薬用美白美容液『フレッシュセラム』、薬用美白クリーム『モイスチャークリーム』がバージョンアップ。明るく印象的な肌へ導く薬用クレンジングクリーム『トリートメントマセ』、クリーミーな泡でクリアな素肌へ導く薬用洗顔料『クリアウォッシュ』が新発売。
- ・5月：紫外線等によるダメージ肌に働きかけるサロン用スペシャルケアセット『SPA04』を期間限定発売。
- ・6月：おいしく体をサポートする酢飲料『酵素美人』シリーズより、『酵素美人ー緑』(キウイフルーツ味)、『酵素美人ー赤』(ピンクグレープフルーツ味)、『酵素美人ー桃』がバージョンアップ。
- ・8月：真夏の肌環境を整えるスペシャルケアセット『SPA BG』と『パックセット BG』を期間限定発売。
- ・10月：肌にハリ・弾力を与えるエイジングケアライン『BX』シリーズより、洗い流さない夜用パック『シルキーベール』が新発売。
- ・11月：むくみやたるみを集中ケアし、すっきりと引き締まったメリハリのある印象へ導くサロン用スペシャルケアセット『SPA08』を期間限定発売。
今秋収穫された巨峰ストレート果汁を使用した酢飲料『葡萄美人』を数量限定発売。
- ・12月：黄金生姜・大生姜を配合した酢飲料『酵素美人ー金』を数量限定発売。

以上の販売活動を実施してまいりましたが、成長の要である新規集客活動の集客力低下に対する改善不足及び各種プロモーションの強化計画の遅延により、当初の想定以上に新規来店者数が減少いたしました。また、消費税増税後の買い控えや、10月の台風等による全国規模での店舗の臨時休業や新規獲得イベントプロモーション中止の影響等により、直営店舗における売上高は8,215,396千円(前年同期比9.6%減)となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は8,636,548千円となりました。利益面におきましては、広告宣伝費や販売促進費をはじめ経費の合理化に努めてまいりましたが、売上高の減少による利益減を補いきれず、営業損失は123,137千円、経常損失は83,099千円となりました。また、基幹システムの開発計画見直しによる特別損失58,000千円、及び繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産の一部を取り崩す等により法人税等調整額172,258千円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は372,875千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は5,256,411千円となり、前連結会計年度末に比べて337,568千円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少(前連結会計年度末比254,433千円減)、その他流動資産の減少(前連結会計年度末比64,138千円減)によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は5,783,372千円となり、前連結会計年度末に比べて324,749千円減少いたしました。その主な要因は、建物及び構築物の減少(前連結会計年度末比67,300千円減)、無形固定資産の減少(前連結会計年度末比46,662千円減)、投資その他の資産の減少(前連結会計年度末比222,603千円減)によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,611,966千円となり、前連結会計年度末に比べて128,681千円減少いたしました。その主な要因は、買掛金の減少(前連結会計年度末比14,024千円減)、未払法人税等の減少(前連結会計年度末比24,722千円減)、ポイント引当金の減少(前連結会計年度末比32,569千円減)、その他流動負債の減少(前連結会計年度末比65,445千円減)によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は501,429千円となり、前連結会計年度末に比べて25,988千円増加いたしました。その主な要因は、長期借入金の増加(前連結会計年度末比21,750千円増)によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は8,926,389千円となり、前連結会計年度末に比べて559,625千円減少し、自己資本比率は80.8%(前連結会計年度末は81.0%)となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少(前連結会計年度末比544,028千円減)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月10日付「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年1月31日)公表いたしました「特別損失の計上及び繰延税金資産の取り崩し並びに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,479,571	3,225,137
受取手形及び売掛金	919,686	903,341
商品及び製品	378,249	391,019
仕掛品	67,446	65,175
原材料及び貯蔵品	459,655	446,521
その他	289,655	225,516
貸倒引当金	△283	△301
流動資産合計	5,593,979	5,256,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,455,810	2,388,509
土地	1,385,337	1,385,337
その他(純額)	360,228	372,044
有形固定資産	4,201,375	4,145,891
無形固定資産	150,816	104,154
投資その他の資産		
その他	1,778,929	1,556,326
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,755,929	1,533,326
固定資産合計	6,108,122	5,783,372
資産合計	11,702,102	11,039,784
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,243	90,218
1年内返済予定の長期借入金	-	5,800
未払法人税等	85,422	60,700
ポイント引当金	490,979	458,410
資産除去債務	4,374	6,654
その他	1,055,627	990,182
流動負債合計	1,740,647	1,611,966
固定負債		
長期借入金	-	21,750
資産除去債務	326,482	329,007
その他	148,957	150,671
固定負債合計	475,440	501,429
負債合計	2,216,087	2,113,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	480,746	483,930
資本剰余金	364,646	367,830
利益剰余金	8,418,051	7,874,022
自己株式	△1,104	△1,232
株主資本合計	9,262,340	8,724,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220,944	204,496
為替換算調整勘定	△3,451	△7,318
その他の包括利益累計額合計	217,492	197,177
新株予約権	6,180	4,660
純資産合計	9,486,014	8,926,389
負債純資産合計	11,702,102	11,039,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	8,636,548
売上原価	1,986,768
売上総利益	6,649,779
販売費及び一般管理費	6,772,917
営業損失(△)	△123,137
営業外収益	
受取利息	155
受取配当金	5,381
受取家賃	22,716
その他	11,956
営業外収益合計	40,210
営業外費用	
支払利息	65
社宅等解約損	69
その他	37
営業外費用合計	171
経常損失(△)	△83,099
特別利益	
固定資産売却益	2,272
投資有価証券売却益	2,377
新株予約権戻入益	850
特別利益合計	5,501
特別損失	
固定資産除却損	6,861
減損損失	71,527
特別損失合計	78,389
税金等調整前四半期純損失(△)	△155,987
法人税、住民税及び事業税	44,628
法人税等調整額	172,258
法人税等合計	216,887
四半期純損失(△)	△372,875
非支配株主に帰属する四半期純利益	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△372,875

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△372,875
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△16,447
為替換算調整勘定	△3,867
その他の包括利益合計	△20,315
四半期包括利益	△393,190
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△393,190
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。